

外 国 語

1 学習指導の工夫・改善

(1) 各教科等における探究的な学び

新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するために、教科等横断的な学習を充実させることが求められている。

各教科においては、「探究」の名称が付されていない科目等についても、それぞれの内容項目に応じて、探究的な活動は取り入れられるべきものである。各教科における探究的な学びには、探究のプロセス全体を通して資質・能力を育成するだけでなく、「整理・分析」や「まとめ・表現」など探究のプロセスの一部に焦点を当てることも考えられる。この際、「考えるための技法」を効果的に活用することが重要である。

外国語科においては、主に教科書による学びの中で、「整理・分析」として、まとまりのある文章を聞いたり読んだりして、情報や考えについて比較、分類、関連付けなどを行いながら、文章の概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、「まとめ・表現」として、自分自身の考えなどの、伝えたい内容についてまとめたりするために、「考えるための技法」を活用したりすることなどの学習活動が考えられる。また、自分の考えなどについて話したり書いたりして伝える際には、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、聞き手や読み手に応じた話の内容、構成、表現などを選択するとともに、伝える内容を自らが的確に理解し、自分の言葉として表現できるようにする学習活動が考えられる。このように、目的や場面、状況などに応じた言語活動を、探究のプロセスを意識しながら行う中で、外国語科における「思考力、判断力、表現力等」が育成されると考えられる。

また、教科書で学習した内容と結び付けて、発展的な「課題の設定」を行い、その課題について「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」する探究のプロセス全体を通して、さらに深い学びにつなげることも可能である。

(2) 教科等横断的な視点を意識した年間指導計画の作成

外国語科に関する各科目においては、言語能力の向上を図る観点から、言語活動などにおいて国語科と連携を図り、指導の効果を高めるとともに、日本語と英語の語彙や表現、論理の展開などの違いや共通点に気付かせ、その背景にある歴史や文化、習慣などに対する理解が深められるよう工夫をすることが必要である。また、言語活動で扱う題材は、国語科や地理歴史科、公民科、理科など、他の教科等で学習した内容と関連付けるなどして、英語を用いて課題解決を図る力を育成する工夫が求められている。例えば、地理歴史科との連携では、世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題などについて学習した内容と関連する話題について英語で議論したり、理科との連携では、生態系のバランスと保全について学習した内容を想起しながら、関連する英語の文章を読むことなどが考えられる。このような教科等横

断的な視点を意識した上で、英語による言語活動を通して、生徒による主体的・対話的で深い学びの実現を図ることができるよう、年間指導計画を作成する必要がある。

次の表は、「英語コミュニケーションⅠ」の年間指導計画の例である。

教科名		外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ						
教科の目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。								
履修学年		1	単位数	4						
月	単元	学習内容	評価規準	領域と観点					評価方法	関連
				L	R	I	P	W		
8	Lesson 3 ○○○	日常的な話題（無人島に持って行くなら何がよいか）について、情報や考え、気持ちなどを話して伝える。	・「無人島に持っていくなら何がよいか」ということについて、スライドなどの視覚的補助を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えている。				○ 思 態		言語活動の観察(P) 学習の振り返り(P)	○国語 (言語活動：年間を通して) ○情報 (情報活用能力)
	Lesson 5 ○○○	社会的な話題（環境問題）についての英文を聞いたり読んだりしたことを基に、事実や自分の考えなどを話して伝え合う。	・環境問題についての英文を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を捉えている。 ・写真や実物などを用いて、事実や自分の考えなどを話して伝え合っている。	○ 態	○ 知 態	○ 知 態		○ 知 態	ペーパーテスト(R) ※定期考査[9月] パフォーマンステスト(I) 学習の振り返り(L, R, I)	○総探 (考えるための技法) ○科学と人間生活 (物質の科学)
9	Lesson 2 ○○○	日常的な話題（世界の食べ物）や社会的な話題（ウェルビーイング）についての英文を聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えを、論理性に注意しながら書いて伝える。	・世界の食べ物やウェルビーイングについての英文を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を捉えている。 ・自分の考えを、論理性に注意しながら書いて伝えている。	○ 態	○ 知 態	○ 知 態	○ 知 態	○ 知 態	ペーパーテスト(L, R, W) ※定期考査[9月] 学習の振り返り(L, R, W)	○公共 (人間としての在り方生き方)
	Lesson 6 ○○○									

複数のレッスンを「内容や時間のまとまり」としている。

パフォーマンステストは行わないが、次の単元の学びにつながるよう指導と評価を行う。

9月の定期考査で評価することとしている。

ペーパーテストの中で、「書くこと」のパフォーマンス評価も行うこととしている。

2 新学習指導要領における指導と評価の計画例

(1) 英語コミュニケーション I の計画例

ア 単元の目標

社会的な話題（環境問題）についての英文を聞いたり読んだりしたことを基に、写真や実物などを用いて、事実や自分の考えなどを話して伝え合うことができる。

イ 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 環境問題についての英文を聞いたり読んだりするのに必要となる語彙や表現を理解している。 事実や自分の考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題についての英文を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を捉えている。 写真などを用いて、事実や自分の考えなどを話して伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題についての英文を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を捉えようとしている。 写真などを用いて、事実や自分の考えなどを話して伝え合おうとしている。

ウ 単元の指導と評価の計画（10時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	知	思	態
1～3 【3時間】 教科等横断	<p>■日本のゴミの再利用の現状について理解を深める。</p> <p>①身近なゴミの再利用の例について、ペアでやり取りをしながら共有する。</p> <p>②本文を聞いたり読んだりして理解した内容を、口頭によるリテリングや要約の形で話して伝え合う。</p> <p>リテリング等を行う際に、資源の再利用について「科学と人間生活」で学習した内容を付け足すよう指示するなど、既習知識の活用により学習を深めることが考えられる。</p>	<p>状況を 見て 指導 に 生か す こ と は 毎 時 間 行 う。</p> <p>一 斉 に 記 録 に 残 す 評 価 は 行 わ な い。 た だ し、 ね ら い に 即 し て 生 徒 の 活 動 の</p>		
4～7 【4時間】 教科等横断	<p>■ゴミの再利用の新しい形である「アップサイクル」について理解を深める。</p> <p>①本文を聞いたり読んだりして理解した内容を、口頭によるリテリングや要約の形で話して伝え合う。</p> <p>②題材に関連する動画を視聴し、理解した内容についてペアで話して伝え合う。</p> <p>文章を聞いたり読んだりする際に、例えばコンセプトマップや座標軸などの思考ツール（考えるための技法）を活用して、情報を整理、分析することが考えられる。</p>			
8～9 【2時間】	<p>■身近な「アップサイクル」の例を紹介する。</p> <p>①身近なアップサイクルの例として、自分が撮影した写真について、ペアで紹介し合う。</p> <p>②自分が紹介したリサイクルまたはアップサイクルの例について、ペアで質疑応答を行う。</p>			
10 【1時間】	<p>パフォーマンステスト</p> <p>「話すこと [やり取り]」</p> <p>※「オ 評価問題等」参照</p>		○	○

エ 学習指導案（8時間目／10時間）

1 本時の目標

自分の身の周りで見つけた「アップサイクル」の例について、ペアで説明し合うことができる。

2 本時の展開

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの復習 Q & A 	<ul style="list-style-type: none"> レッスン全体を改めて通読し、教師からの英語による質問に答えながら、内容を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に「アップサイクル」について再確認させる。
展開	【活動】自分が見つけた「アップサイクル」の例を共有する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク① # 写真の内容を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アップサイクル」の具体例について、自分が撮影した写真をペアに見せながら説明する。 ペアを数回変えながら行う。 ペアワーク①を通して得られた学びや気づきをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自の端末から、クラウド上のワークシート（※）を使用する。 一人一台端末の利点を活かした言語活動を行う。 段階的なペアワークを行うことで、英語でのやり取りに自信を付けさせる。
	【活動】自分が見つけた「アップサイクル」についての質問に答える。		
	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク② # 事前に用意したQ & Aを用いて練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題として、自分が想定してワークシートに入力しておいた質問を、相手に投げかけてもらい、返答する練習をする。 ペアを数回変えながら行う。 ペアワーク②を通して得られた学びや気づきをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、中間指導を行い、生徒の気づきを促す。 「言語使用の正確さ」及び「表現内容の適切さ」についてフィードバックを行う。
【活動】インタビュー形式で、即興的なやり取りを行う。			
	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク③ # パフォーマンステストを想定してやり取りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー形式でペアワークを行う。その際、お互いにその場で思い付いた質問をする。 ペアを数回変えながら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、中間指導を行い、生徒の気づきを促す。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク③及び本時の活動全体を通して得られた学びや気づきをワークシートに記入する。 クラウド上で、ワークシートを教師に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出されたワークシートは、パフォーマンステストと併せて評価資料として活用する。 言語活動を通して、主体的に学習に取り組む態度（「粘り強さ」、「自己調整」）を見取る。

※ クラウド上のワークシートの例

(文書作成ソフトで作成、学習支援ソフトを通して前時までに配布)

A Good Example of "Upcycling" that I found

お互いのワークシートは、クラスメートと共有される。

Step 1 身の周りで見つけた「アップサイクル」の例を英語でクラスメートに説明しよう。(ペアワーク①)

【事前課題 A】 身の周りで見つけた「アップサイクル」の例の写真を撮影し、枠線の中に貼り付けよう。

異なるペアで繰り返し活動を行うこととしている。

ここに写真を貼り付ける

【事前課題 B】 写真の内容を英語で説明するのに必要な語句を調べて書き出しておこう。

・ 説明文の原稿を書くのではなく、説明に必要なキーワード等を書き出しておくことにより、キーワード等をつなぎ合わせて自分の言葉で伝えるよう工夫している。

・ また、ワークシートはクラスメートと共有されているため、他の生徒が、新出語彙、表現に注目しながら説明を聞くことができるような工夫もしている。

Step 2 写真の内容について、準備した質問を使って英語でやり取りしよう。(ペアワーク②)

【事前課題】 写真の内容について、想定される質問を3つ書いてみよう。

Questions

1. _____

2. _____

3. _____

答えは、相手の生徒にとって新情報となるよう、このワークシートには書かないこととしている。

Q & Aを通して写真の内容がクラスメートに伝わることをねらいとしている。

Step 3 写真の内容について、質問を即興で考えて英語でやり取りしよう。(ペアワーク③)

【メモ】 クラスメートから新たに質問された内容をまとめておくなどの活用の仕方が考えられる。

【振り返り】 学んだことや気付いたことを書いてみよう。

【写真の説明について (ペアワーク①)】

【準備したQ & Aについて (ペアワーク②)】

【即興のQ & Aについて (ペアワーク③)】

【本日の授業全体について】

「言語使用の正確さ」及び「表現内容の適切さ」についての気付きを得ることを目的とし、ペアワークの後に簡単な振り返りを行う。【中間指導の場面】

- R4外国語 5 -

オ 評価問題等

(ア) パフォーマンステスト

○ 指示内容

あなたの身の周りで見つけた「アップサイクル」の内容についていくつか質問します。質問に英語で答えてください。会話は2分程度とします。

○ 実施の方法

教師と1対1のインタビュー形式とする。

○ 採点の基準

この例では、「話すこと [やり取り]」の評価に焦点を当てるため、「話すこと [発表]」に関わる「写真の説明」の部分については扱わないこととしている。

条件1	写真の内容についての質問に適切に答えている。
条件2	「アップサイクル」についての自分の考えを述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> 説得力のある内容を伝えるための<u>多種多様な語彙や表現</u>が適切に使用されている。 <u>聞き手に分かりやすい音声</u>等で話している。 	二つの条件を満たした上で、 <u>関連する詳細な情報を伴ってより分かりやすく話</u> している。	二つの条件を満たした上で、 <u>関連する詳細な情報を伴ってより分かりやすく話</u> そうとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> 多少の誤りはあるが、<u>理解に支障のない程度の語彙や表現</u>を使って話している。 <u>理解に支障のない程度の音声</u>等で話している。 	二つの条件を満たしている。	二つの条件を満たそうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

○ 写真の説明の例

This is a pair of chopsticks which were made of wood from a broken bat. In the old days, broken bats were thrown away, but many people thought it's very "mottainai". So some companies started to make chopsticks from a broken bat recently.

(写真)



ある生徒が本単元においてこのような写真の説明を行ったと想定する。

○ 生徒の発話の例

動画を視聴し、上記、「○ 採点の基準」を用いて、a, b, cで評価をしてみてください。



【動画「生徒の発話の例①」】

知	思	態

【動画「生徒の発話の例②」】

知	思	態

○ やり取りの内容と採点の結果の例

【生徒 A】

教師：Where did you get it?
 生徒 A：I get it at a sports shop. (誤りはあるが、理解に支障はないと判断できる。)
 教師：Do you like sports?
 生徒 A：Yes, I do.
 教師：How many pairs of chopsticks can you make from a broken bat?
 生徒 A：Well...I'm sorry, I don't know. (詳細情報については答えられないものもあるが、やり取りを続けようとしている。)
 教師：What other things can you make from a broken bat?
 生徒 A：Spoons, folks, knives and so on.
 教師：Will upcycling become more popular in Japan in the future?
 生徒 A：Yes, upcycling is important. (理解可能な英語で、自分の意見を述べている。)
 ※「採点の基準」に沿って、全ての観点で「b」と評価した。

【生徒 B】

教師：Where did you get it?
 生徒 B：I got it at the sports goods shop near my house. (関連する詳細な情報を述べている。)
 It sells not only baseball goods but various kinds of sports goods.
 教師：Do you like sports?
 生徒 B：Yes, especially I really love to play it and watch the game on TV.
 So I'm happy to use this pair of chopsticks. (自分の気持ちを表現しながら具体的に伝えている。)
 教師：How many pairs of chopsticks can you make from a broken bat?
 生徒 B：Honestly speaking, I'm not sure. However, I guess we can make more than 100 pairs of chopsticks from one broken bat. (既習事項から、高度で多種多様な表現を適切に使用している。)
 教師：What other things can you make of wood from a broken bat?
 生徒 B：I think we can make many kinds of wooden goods, for example, cutlery such as spoons, folks, knives and so on. (理由とともに自分の意見を述べることで、説得力をもたせている。)
 教師：Will upcycling become more popular in Japan in the future?
 生徒 B：Yes, I think so. That's because many Japanese people pay attention not to use so much resources recently, so upcycling will be more popular as one of the ways to save resources.
 ※「採点の基準」に沿って、全ての観点で「a」と評価した。

(イ) ペーパーテスト

○ 既習英文（教科書本文）の例

I think Japan is still a country of *mottainai*. It is true that some people throw away usable things, but others try to reuse or recycle them. (第1問の問1(1)) (第1問の問2)
 How do they reuse items? Some of my friends buy and sell used books and clothes on the Internet. Also, some apparel makers collect used clothes and send them to refugee camps across the world. Reusing something, I always feel the spirit of *mottainai*.
 (第1問の問1(2)) As well as reusing some items, we try to recycle others. Many cities and towns have strict rules for separating garbage. Used plastic bottles, for example, are made into various new goods.
 These days, moreover, I hear a different kind of recycling has become popular. It is called *upcycling*.

○ 問題の例

第1問 次の問いに答えなさい。[知識・技能]

問1 次の(1), (2)の英文の [] に入る最も適当な語を、それぞれア～エから選びなさい。
 【知識】 語句の意味や文法などの言語材料そのものに関する問題
 (1) To [] is to treat things that have already been used so that they can be used again.
 ア throw away イ reuse ウ collect エ recycle
 (2) [] his students, the teacher is singing a song.
 ア Surrounding イ Surrounded by ウ To surround エ When he was surrounding

問2 次の英文は、授業中に生徒が意見を述べている場面のものです。対話の流れに合うように、 [] に入る適当な語句を2語以上で書きなさい。
 【技能】 目的、場面、状況に応じて知識を活用させる問題
 Student A: I think it's better for us to wear school uniforms because we don't have to choose what to wear every day.
 Student B: [] we don't have to choose what to wear, but it's easier to move around in personal clothes.
 (正答例) It is true that

第2問 次の英文を読んで、問いに答えなさい。[知識・技能／思考・判断・表現] 関連する初見の英文から出題している。

By growing awareness and gaining an understanding of the environmental impacts we have on our planet, we can be better informed of where and how to act. A lack of awareness and responsibility has all added up to polluted land, sea, and air. From a lack of consideration of the environment in the way we manage waste to mass-producing throw-away items to keep up with demand. Thankfully things are changing and understanding the importance of the 4Rs can certainly help us inform our choices.

By increasing our sustainability in the home and better managing our waste we can all make a difference. Especially if we are to all play a role in helping keep our oceans free from plastic waste and reducing our consumption of needless items that can pollute our environment.

If you are unfamiliar with the 4Rs then they are: Refuse, Reduce, Reuse, Recycle.

The 4Rs make for a simple yet effective way to help us consider the items that we buy, use and dispose of. When we choose to stop and think about each of the 4Rs it helps us to consider a number of important aspects related to our consumption. From what we buy, to how we can reduce, to what can be reused, and how we eventually get rid of it.

If we are to make a difference to the environment then now is the time to identify the importance of the 4Rs.

問1 Why do we cause polluted land, sea, and air?

【技能】
英文の意味を理解しているかどうかを評価する問題（意味が分かれば正解できる問題）

- ア We aren't informed of where throw-away items come from.
- イ We don't know how to keep up with demand.
- ウ We aren't aware of the environmental impacts we have.
- エ We don't want to take responsibility for our choices.

問2 Which of the following sentences contains what the author wants to convey most?

【思・判・表】
英文の概要や要点を捉えているかどうかを評価する問題（複数の情報や英文全体から判断しないと解答できない問題）

- ア The most important thing is to keep our oceans free from plastic waste.
- イ Better understanding of 4Rs will help us act for our environment.
- ウ It's easier to think about what can be reused than what we buy, use and dispose of.
- エ We should play a role in telling the importance of 4Rs to as many people as possible.

問3 If you add one more "R" to "4Rs" to make "5Rs", what word would you like to add? And why?

【思・判・表】
英文の概要や要点、詳細を踏まえた上で、自分の考えを整理し、書いて伝える問題

【正答例】I'd like to add "Repair." To protect the environment, it's good to repair something broken instead of throwing it away.

(ウ) 「聞くこと」と「読むこと」の受容技能について、生徒が「自己調整」を図ることができるようにするための振り返りの例

CAN-DOリストや単元のねらいに応じて、振り返りの視点を与える。生徒の負担が大きくなりすぎないように配慮する必要がある。

■ 「聞くこと」と「読むこと」について、5（十分できた）、4（できた）、3（ある程度できた）、2（あまりできなかった）、1（できなかった）の基準で自己評価してみよう。（数字に○を付ける。）
また、下の表には、「やったこと」、「分かったこと」、「次にやること」の3つを書いてみよう。

- (1) 初めて聞いたり読んだりする英語について、分からない語句などがあっても、必要な情報を捉えることはできましたか。
[5 - 4 - 3 - 2 - 1]
- (2) 初めて聞いたり読んだりする英語について、分からない語句などがあっても、概要や要点、書き手や話し手の意図を捉えることはできましたか。
[5 - 4 - 3 - 2 - 1]
- (3) 聞いたり読んだりして理解した英文の内容を、聞き手に分かりやすいように、音読するなどして伝えることはできましたか。
[5 - 4 - 3 - 2 - 1]

	やったこと (がんばったこと)	分かったこと (気付いたこと)	次にやること (がんばりたいこと)
聞くこと			
読むこと			

振り返りのフレームワークである「YWTシート」を基に例示している。「Y」は「やったこと」、「W」は「分かったこと」、「T」は「次にやること」を意味している。各学校や生徒の実態に応じて、振り返るための記述のさせ方を工夫する。